

# 令和2年度 生活習慣病重症化予防連携推進会議 議事要旨

- 1 日 時 令和2年11月5日(木) 19:00~20:30
- 2 開催方法 北九州市総合保健福祉センター 講堂
- 2 参加者 [構成員] 岡本構成員、海津構成員、金井構成員、柳田構成員、益田構成員、柴田構成員、岡田構成員、杉本構成員、前野構成員、大藏構成員、古市構成員、松丸構成員、丸子構成員、高島構成員、湯元構成員、安永構成員、足立構成員、田中構成員  
[事務局] 保健福祉局医務官、保健福祉局健康医療部長、保健福祉局健康医療部健康推進課長ほか
- 3 議 題
  - ・北九州市の現状について(報告)
  - ・糖尿病重症化予防連携推進に関する取組の評価と検討事項
  - ・CKD 予防連携システムに関する取組の評価と検討事項
  - ・その他
- 4 議題概要
  - ・北九州市の現状について(報告) ・・・資料1 ページ以降  

---

議題資料について、事務局より説明。  
<主な内容>
    - ・生活習慣病が重症化した疾患の入院等医療費は減少傾向となっている。
    - ・特定健診受診率は、少しずつではあるが年々上昇している。
    - ・医療費等に保健事業の効果が出ているが、全国と比較して有所見者の割合が高いため、引き続き重症化予防の取組が必要。
  - ・糖尿病重症化予防連携推進に関する取組の評価と検討事項 ・・・資料6 ページ以降  

---

<主な内容・結果>
    - (1) 糖尿病重症化予防について
      - ・令和3年度保険者努力支援交付金においてHbA1c8.0%以上の未治療者割合が問われるなど国は糖尿病重症化予防の取組をさらに推進している。
    - (5) アンケートの実施について
      - ・取組の評価指標として挙げている、北九州市医師会特定健診・特定保健指導登録医療機関研修会における2回目のアンケート調査については、令和2年度末に実施予定としていたが実施時期を変更する。アンケート調査は、糖尿病連携手帳の啓発等で重要であるため、時期を考慮し実施する。

<主な内容・結果>

(1) CKD 予防連携システム

- ・CKD 予防連携システムの目的は、慢性腎臓病（CKD）予防の取組を実施し、人工透析への進行を阻止、心血管疾患の発症を抑制し、医療費の適正化を図ることになる。
- ・システムの運用件数は減少しているが、導入年齢が後ろ倒しになっていること、慢性腎不全の医療費が減少していること等から、実際には把握している件数以上のシステム運用があっていると思われる。

(3) CKD 重症度シールの作成について

- ・一目で重症度が分かり、円滑な多職種連携につながることから、シールの活用が望ましい。
- ・プライバシーの観点から、本人や家族へ確認をとることやシール貼付箇所について考慮が必要。シールの活用方法については、本会議でのご意見を基に、事務局が再度検討する。

(1) 北九州市における高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施について

議題資料について、事務局より説明。

<主な内容>

- ・高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施について、北九州市では令和 2 年度より、後期高齢者医療広域連合からの委託を受け事業を開始。KDB システムから抽出したデータを基に本市の課題を分析し、重症化予防を目的として保健指導対象者を抽出、訪問による保健指導やポピュレーションアプローチによる取組を実施している。

(2) 次回開催について

令和 3 年 10 月～12 月頃を予定。